



裏磐梯だより

No. 97

2019年7月



▲銅沼と磐梯山の火口壁

ビジターセンター周辺では初夏を告げるエゾハルゼミの合唱もひと段落、いよいよ夏を迎えます。

さて、今回の表紙は磐梯山の北側、標高 1,120m にある火山湖、銅沼です。1888 年におきた磐梯山の水蒸気爆発でうまれた湖沼のひとつです。「銅沼」と書いて「あか沼」と読む赤錆色の沼ですが、実は銅以外の物質も多く含んでいます。鉄、マンガン、アルミニウムなどの多彩な金属、そして噴気口から供給される硫化物や塩化物は銅沼を強酸性の水質にしています。また銅沼の強酸性の水は五色沼湖沼群の水源の一つと考えられており、五色沼湖沼群のいくつかの沼でみられる不思議な色は銅沼が供給する金属物質が深く関わっています。

銅沼から見える磐梯山の荒々しい岩肌や噴煙は、大地の歴史や自然が作り出す複雑な化学反応の美しさを感じさせてくれます。

裏磐梯の地形や不思議な沼の色を科学の視点から見てみてはいかがでしょうか。